

J R 総連通信

2023年5月22日 No.1644

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

国鉄改革から35年 「仲間とともに地域社会と鉄道の未来を切り拓く 5.20 政策シンポジウム」開催！



JR総連は5月20日、「国鉄改革から35年『仲間とともに地域社会と鉄道の未来を切り拓く5.20 政策シンポジウム』」を東京・目黒区内にて開催し、全国から結集した組合員のほか、JR総連推薦議員懇談会所属の国会議員をはじめ、多くのご来賓にご出席をいただきました。

主催者を代表し山口委員長は「4月21日、『地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（地活法）等の一部を改正する法律』の成立によって、ローカル線存続、物流ネットワーク確保のためのたたかいは新たな段階を迎えた。今シンポジウムを端緒に、改めて鉄道が社会生活や物流に果たす役割を明確にし、地域の仲間と共にさらに一歩前を出よう」と挨拶しました。

政策発表では、JR総連・JR東労組・JR西労・JR貨物労組から、「ローカル線の維持・活性化」にむけて地域と共に取り組んできた活動の報告や、人流・物流の両面から「鉄道ネットワークの充実」にむけた課題などに対する提言をおこないました。



また、特別講演として衆議院議員・松木謙公氏（JR総連推薦議員懇談会所属）より、国鉄改革当時の政治状況、人口減少社会における今後の鉄道の役割についてなど、多岐にわたる講演をいただきました。

その後、意見交換と熊谷書記長のまとめをおこない、地域の目線にたち、地域社会に貢献し、必要とされる鉄道づくりを推し進めていくために、地域と共に声をあげていくことを確認し、シンポジウムは成功裡に終了しました！